

3 情報Cの年間指導計画の例

月	単 元		時数 (実習)	指 導 内 容	目 標	指導上の留意点	備考
	大単元	小単元					
4	第1章 情報機器の発達とデジタル化	第1節 わたしたちの暮らしの中の情報	1 (0)	・ 情報の中で生きるわたしたち ・ 身の回りの情報機器	・ 情報には様々な種類があることと、身近なところにある情報の特質について理解する。 ・ 身近にある情報機器とは何かを理解する。	・ 科目の目的と内容についてよく理解させる。 ・ パソコン室でパソコンと周辺機器を説明する。	
		第2節 情報のデジタル化	4 (2)	・ アナログとデジタル ・ 情報の単位 ・ デジタル化の利点 ・ デジタル化の問題点	・ ロジックパズルの作成を通して、アナログ量とデジタル量の違いを認識する。 ・ 2進数について学ぶと共に、その単位について理解する。 ・ デジタル化による利点を、具体的な例を挙げて確認する。 ・ デジタル化による問題点を著作権などの問題と関連して理解する。	・ 実習を通してアナログとデジタルの違いを理解させるようにする。 ・ 生徒の状況に応じて16進数にも触れていく。 ・ 略語などが多く出てくるので、確認しながら授業を進める。 ・ 著作権については軽く触れる程度に留める。	表計算ソフト 提示教材
5	第2章 ネットワークとコミュニケーション	第1節 社会で利用されている情報システム	2 (0.5)	・ さまざまな情報システム ・ ネットワークでつながる情報システム	・ 情報システムの種類とその特徴を実習を通して理解する。 ・ わたしたちの生活が様々な情報システムの中で成立していることを理解する。		4名～5名でグループを作成する Web ブラウザ
		第2節 ネットワークのしくみ	8 (5.5)	・ コンピュータネットワーク ・ ネットワークを支える技術 ・ 世界とつながるコンピュータ ・ インターネット上のさまざまなサービス ・ 共有とセキュリティ ・ 正確で効率的な情報の伝達	・ LAN の仕組みを調べる。 ・ インターネットを支えるしくみを理解する。 ・ HTML について、実習を通して理解する。 ・ 電子メールについて、実習を通してその仕組みときまりを理解する。 ・ ネットワーク上のセキュリティの種類と方法を理解する。 ・ データ圧縮の方法について理解する。	・ 調査はPC室の中に留めておく。 ・ HTML に深入りしすぎないように注意する。 ・ 電子メールに関するマナーにも気を付けさせる。	グループ実習 Web ページ作成ソフト メールソフト 提示教材
6							

月	単 元		時数 (実習)	指 導 内 容	目 標	指導上の留意点	備考
	大単元	小単元					
6		第3節 学級 紹介 Web ペ ージの制作	8 (7)	・ テーマ設定とグループ作成 ・ ページ構成の決定 ・ 資料のデジタル化 ・ ページ作成 ・ ページのリンクと相互評価 ・ Web ページの完成	・ 作成する Web ページのテーマを決定する。 ・ 収集した資料をデジタル化し、Web ページの構成を決定することができる。 ・ Web ページを作成することができる。 ・ 他のグループと作成した Web ページを互いに評価することができる。 ・ 他のグループからの評価をもとに Web ページを再構成することができる。	・ 1グループ4名～5名で編成する。 ・ 手分けして作業するように留意する。	画像処理ソフト 音声編集ソフト 動画編集ソフト デジタルカメラ イメージキャナ デジタルビデオ Web ページ作成ソフト
7	第3章 情報化の光と影	第1節 情報 化の恩恵	3 (1.5)	・ 情報公開の促進 ・ 情報の検索と蓄積 ・ 情報活用の変化 ・ 豊かな生活への支援	・ 市町村の Web ページを見ることでどんな情報が公開されているのかを確認する。 ・ 情報検索の方法とデータの蓄積方法について理解する。 ・ 情報には片方向のものと双方向のものがあることを理解する。 ・ 情報のノーマライゼーションを理解する。		Web ブラウザ
9		第2節 情報 化が内包する 問題	11 (8.5)	・ 個人情報の漏洩と保護 ・ 情報操作 ・ 著作権の保護 ・ 現実性の喪失と情報依存 ・ ハイテク犯罪	・ 個人情報保護の重要性を理解する。 ・ 情報を比較し、その信頼性について考える。 ・ 著作権について学び、話し合いを通して内容を理解する。 ・ 仮想現実と情報災害について理解する。 ・ 情報ネットワーク上で発生する犯罪について理解する。	・ 具体的な例をインターネットなどで調べさせて、比較させる。 ・ 話し合いの結果を発表させるようにする。 ・ 身近な例を利用して学ばせる。 ・ 生徒が巻き込まれそうな題材を選んで、それについて解決策を考えさせる。	Web ブラウザ
10		第3節 情報 化の二律背反	2 (1)	・ 独占と共有 ・ 規則と自由	・ 情報化の相反する側面について理解する。 ・ 情報社会に参画する心構えについて、実習を通して身に付ける。		

月	単 元		時数 (実習)	指 導 内 容	目 標	指導上の留意点	備考
	大単元	小単元					
11	第4章 総合実習	第1節 総合 実習の進め方	3 (2)	・ 総合実習についての説明	・ 総合実習における研究グループ作りとテーマを決定することができる。 ・ どのような形で研究を進めていくのか、作業計画を作成することができる。		グループ実習
12		第2節 総合 実習の実際	12 (12)	・ 総合実習	・ 具体的なテーマに基づく調査研究を行い、それを発表することができる。 ・ 発表に関して相互評価を行い、それぞれの研究について報告書を作成することができる。	・ 報告書はHTMLファイルで保存し、蓄積できるようにする。	画像処理ソフト 動画編集ソフト デジタルカメラ イメージスキャナ
1		第3節 総合 実習の実践例	5 (5)	・ 仮想CM作成	・ 総合実習の経験を生かして、仮想的なCMを作成するための計画をたてることができる。		デジタルビデオ Web ページ作成ソフト
2	第5章 情報通信社会を築く	第1節 ネット ワークが変える社会	8 (6)	・ 情報通信技術と社会の変化 ・ 産業構造とネットワーク ・ 労働形態とネットワーク ・ 学習形態とネットワーク ・ ビジネスチャンスとネットワーク ・ 選挙とネットワーク ・ 文化とネットワーク	・ 討議する学習のためのグループを作成し、討議するテーマの担当を決定することができる。	・ デイバートという形式を正しく理解させる。 ・ 担当以外のテーマ時にはレフリー、タイムキーパー、判定者などの役割を果たすように説明する。 テーマ例 電子商取引をすすめるべきか。 在宅勤務は「心豊かなくらし」を実現するか。 情報通信ネットワークが普及すると「学校に行く」という形がなくなるか。 情報化の進展は、ビジネスチャンスを拡大するか。 情報化が生む国際化は、多様な文化の画一化をもたらすか。	1グループ6人 ～8人
3		第2節 情報 通信社会を発展させ、守っていくには	3 (3)	・ 情報通信社会のルール ・ 情報通信社会の発展	・ 情報通信社会のルールはべからず集でない新しいルールが必要であることを理解する。 ・ 自分たちの「情報通信社会のルール」を作ることができる。	・ べからず集にならないよう注意して指導する。	ワープロソフト
			70 (54)				